

癌の分子予測医学

膨大なゲノム情報の医学応用は、次世代のゲノム科学の中心課題である。この中でも、癌死は急速に増加しており、最も重要な問題になってきている。

私たちの研究室では、アダプター付加競合PCR法による高精度遺伝子発現プロファイルデータから予後や抗癌剤感受性などの臨床因子を予測する方法を研究してきた。乳癌、大腸癌、肝癌などの予後予測のほか、乳癌の抗癌剤感受性の予測にも成功している。本講演では、我々の成果を紹介するとともに、これらの解析に用いるために開発したクラスター分析法についても紹介する。